

江戸川区立第二葛西小学校 『特別の教科 道徳』 教育全体計画

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
自らすすんで取り組む子(今年度重点目標)
じょうぶな子
思いやりのある子
考える子
考える子
やりぬく子

【地域の実情】地域社会の都市化により、地域や家庭の個別化を生み、連帯感の希薄につながっている。
【学校の実情】思いやりの心をはぐくむために、保護者や地域との共育を進めている。
【子供の実態】明るく素直である。協調性がある反面、基本的な生活習慣や、公徳心、自主性や自律性が十分身につけていない。
【教職員の願い】保護者の願い
自他の生命、人権尊重の態度を身に付けてほしい。
人の気持ちや立場を推し量り、自分で考え行動する力を身に付けてほしい。

学校の道徳教育の重点目標

- 互いに助け合い、だれに対しても温かく接する態度を育てる。
- 自他を愛し、ものごとに感動する豊かな心情を育てる。
- 自ら考える力を養い、常に言動を振り返る態度を育てる。
- 困難にくじけず、最後までやりぬく強い意志を育てる。

各学年の指導の重点

第1学年及び第2学年

- わがままをしないで、規則正しい生活をする。
- よいと思ったことは、進んで行う。
- 友達と仲良くし、助け合う。
- 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に使う。
- 働くことよさを感じて、みんなのために働く。

第3学年及び第4学年

- 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
- 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
- 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- 約束や社会のきまりを守り、公徳心をもつ。

第5学年及び第6学年

- 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がける。
- より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけない努力をする。
- 自他を尊重し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合い、活動する。

各教科

国語

作品を通して正しいものの見方、考え方を身につける。
正しい言葉づかいを身につけ人間関係を豊かにする。

社会

社会に対する認識を深め、広い視野から公正に判断しようとする能力・態度を育てるとともに、社会の一員としての自覚を高め、人間尊重の精神を養う。

算数

筋道をたてて考え、自ら問題を解決する能力を育て、解決しようとする心を育てる。

理科

自然に親しみ、主体的に観察や実験を行って、自然の偉大さ人間に対する恩恵を認識させ、自然を愛する心情を育てる。

生活

具体的活動や体験を充実させ、自分や身近な人々、自然について関心をもって考える態度を養う。

音楽

楽曲を鑑賞し、表現することによって感性を育て、伝統や自然、文化に根ざした豊かな情緒を育てる。

図画工作

表現と鑑賞活動を通し、様々な個性に対する理解を深め、互いに尊重する心情と態度を育てる。

家庭

実習を通して助け合いの心を学び、思いやりの心を育てる。自主、自立、自己の責任をまっとうさせる。

体育

授業を通じて、運動する楽しさや喜びを体得させるとともに、公正な態度や仲間と助け合ってやり遂げる態度を育てる。

外国語

外国語を通じて、言語や異文化について体験的に理解を深める。さらに、世界の人々と積極的にコミュニケーションを図る。

読書科

図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を育む。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

(主に他の人とのかわりに関することを重視)

1年

- 友達と仲良く、助け合う。

- 日ごろ世話になっている人々に感謝する。

2年

- 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。

3年

- 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。

- 相手のことを思いやり、進んで親切にする。

4年

- 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。

5年

- 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。

- だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

6年

- 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く

指導方針

- 各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的な価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳実践力を育成する。

- 児童が自己の生き方を見つめ、道徳的価値に根ざした問題について多様な視点から交流することを通して、一人一人の児童がよりよい生き方を考えられるようにしていく。

- 道徳的特質を正しく理解し、意図的・計画的に授業を行う。

指導の工夫

- 教師と児童及び児童同士の人間関係を深める。
- 自己の生き方について考えを深められるようにする。
- 家庭や地域社会との連携を図る。

外国語活動

外国語を通じて、言語や異文化について体験的に理解を深める。さらに、世界の人々と積極的にコミュニケーションを図る態度や心情を育てる。

総合的な学習の時間

人や自然とのかわりを通して、自分自身を見つめさせ、学び合い、高め合うことの意義に気づかせるとともに、自己肯定感を高める。
地域の方々との地域の伝統や産業について学びを通して、地域社会の一員としての自覚をもち、郷土を愛する心情を育てる。

特別活動

学級活動

望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする

児童会活動

望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や、健全な生活態度を育てる。

クラブ活動

異年齢のかわり合いの中で、思いやりの心をはぐくむ。さらに、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

学校行事

集団への所属感やルールを学び、連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

生活指導

基本的な生活習慣を確立させるとともに、目標に向かってねばり強く実践する態度と、相手の立場を理解する心情を育てる。

環境整備

落ち着いた生活環境を通して、潤いのある生活態度を育てる。花や緑など、自然環境と校内環境の整備を図る。
正しい言語環境を通して、他者を尊重する態度や思いやりの心を育

家庭・地域との連携

道徳授業地区公開講座を充実させ、地域教材の開発や活用、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携のもと道徳教育の充実を図る。

推進体制

道徳授業の実施状況やそれに見られる課題を踏まえ、様々な利点や効果が広く生み出されるように、道徳教育推進教師を中心として、意図的・計画的に道徳教育を推進する。